

■KBマウス (タブレットによる入力装置)

①日本テクニカル工業(株)

〒220 神奈川県横浜市西区久保町41-3

TEL.045(253)4400/FAX.045(253)4466

お客様相談室 TEL.0120(256)258

②¥256,000 (KBマウス+タブレット)

③PC98シリーズ専用。入力装置に小型タブレットを使用しているため、動作の範囲や力に制限がある方でも電子ペンを軽く操作するだけで入力できる。順次入力・キーリピート禁止機能付き。口にくわえたマウススティック (オプション) での入力も可能 (クリックは息を吸う/吐くという動作で行う)。AXパソコン対応のKBマウス(AX)もある。

■ハイパータッチ(タッチ方式による入力装置)

①(株)ニッサインターシステムズ

〒604 京都市中京区壬生花井町3

TEL.075(812)1750/FAX.075(812)4632

②¥185,000より

③高硬度の透明導電膜でコーティングされたガラス板。CRTやフラットパネルに密着可能。各種サイズが用意されている。パソコン(各社)の汎用入出力ポート(RS-232C)に接続。専用ソフトによって、パネル上の任意の位置、大きさ、形状にキーを設定できる。GUI(グラフィカル・ユーザー・インターフェイス)にも対応。

■タッチデータTD140E V

(入力機能付きディスプレイ)

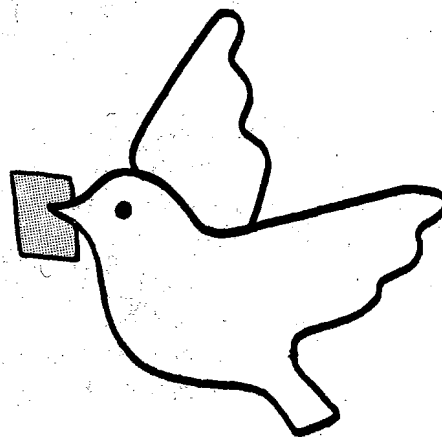
①ミナトエクスプレス(株)

〒223 神奈川県横浜市港区南山田町4105

TEL.045(591)5611 FAX.045(591)5618

②¥298,000

③光センサー(赤外線)方式の外付けパネル。画面に軽く触れるだけで入力・操作が可能。パソコン(各社)の汎用入出力ポート(RS-232C)に接続。タッチ画面登録やタッチエリア指定が自由に行える。



■ケンタッチ (抵抗膜方式のタッチパネル)

①エヌ・シー・エー(株)

〒160 東京都新宿区西新宿6-11-3

西新宿KBプラザ607

TEL.03(3343)6301/FAX.03(3342)9263

②¥75,000(14インチ)より

③フィルム方式のため、検出方式・形状・サイズなどあらゆる表示体に対して自由に設計可能。CRT用(局面型)、フラット型、アーチ型などを用意。強くタッチすることでクリックの効果(3次元入力)が得られる超音波方式「インテリタッチ」(¥150,000 14インチより)もある。

■ソフトキーボード (試作品)

①日本電気(株)C&C第一官庁システム事業部販売促進部

〒108-01 東京都港区芝5-7-1

TEL.03(3798)6212/FAX.03(3798)9568

②試作段階のため未定

③ディスプレイ上のタッチパネルや外付けのタッチパネル、様々なスイッチ類の組み合わせで多彩な入力方法を実現する。キーの大きさ・配置・内容を自由にレイアウト可能。

■AR-03C (上肢障害者用光入力キーボード)

①アートロニクス(株)

〒300-23 茨城県筑波郡伊奈町大字城中289-1

TEL.0297(58)9447 FAX.0297(58)9477

②¥280,000より

③PC98シリーズ対応。レーザー光線発射装置を設置した眼鏡と、フルキー配列の光センサー・キーボードで構成。頭を振り、目的のキーに一定時間以上レーザー光線を当てると入力ができる。順次入力可能。接続は通常のキーボード端子を使うため、市販のアプリケーションがそのまま利用できる。

■AR-06 (モールス符号入力式キーボード)

①アートロニクス(株)

〒300-23 茨城県筑波郡伊奈町大字城中289-1

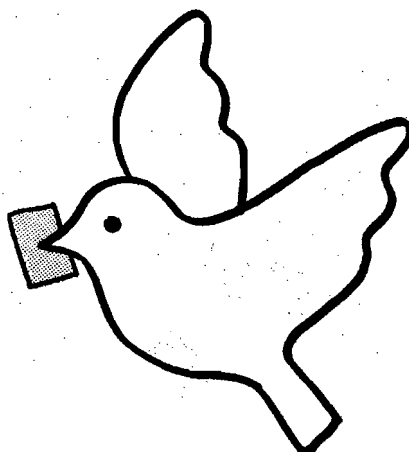
TEL.0297(58)9447/FAX.0297(58)9477

②¥63,000より (本体+タッチセンサー)

③PC98シリーズ対応。モールス符号(・と-)の組み合わせ

で文字や絵を入力するので6つのキーだけで操作可能。

AR-06を小型にし、メモ機能を追加した携帯型符号化入力式キーボードAR-07も販売している(¥128,000)。



■ボイスナビゲーターII (音声認識装置)

①(株)エクセル 〒101 東京都千代田区東神田3-3-8

TEL.03(3864)9588 FAX.03(3864)9708

②¥158,000

③自分の声によって、定型作業からメニューの選択・複雑な書式の設定などを行うことが可能(「作業Aスタート!」といった形で)。手が不自由でもMacを操作できる。

■パソコンP C (意志伝達装置)

①(財)ニューテクノロジー振興財団福祉機器相談室

〒105 東京都港区新橋1-15-5 第一光和ビル6F

TEL.03(3504)1303/FAX.03(3504)1390

②¥500,000(非課税)

③1つもしくは2つのスイッチによって、文書を作成することが可能。ワープロ機能だけでなく、発語機能も備えている。各種ゲームソフトも市販されている。

○会話が不自由という方には

(コミュニケーション支援機器)

■トーキングエイドα (携帯型意志伝達装置)

①(財)ニューテクノロジー振興財団福祉機器相談室

〒105 東京都港区新橋1-15-5 第一光和ビル6F

TEL.03(3504)1303/FAX.03(3504)1390

②¥98,000(非課税)

③キーボードによる入力部と、液晶ディスプレイと音声による出力部で構成。長めのメッセージは、文書を作ってからまとめて発声可能。よく使われる語句18種類はあらかじめ内蔵されている。合計1800文字の保存が可能で、別売のプリンタ装置によって印字することもできる。

■コミュニケーター (携帯用会話補助装置)

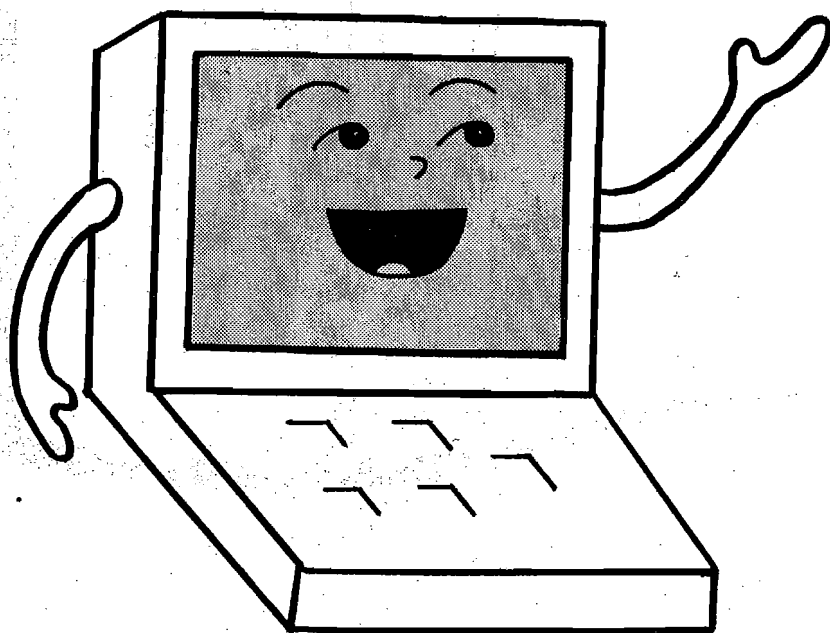
①パシフィックサプライ(株)

〒530 大阪市北区同心2-5-22

TEL.06(352)5708/FAX.06(352)8631

②音声付き: ¥135,000 音声なし: ¥97,000

③アルファベットや数字の他、かな・カタカナがローマ字入力によってテープ上に印字できる。あらかじめ肉声を録音・登録しておくことも可能。他に、16個のキーにそれぞれ日常よく使うメッセージを録音しておき、キーを押して音声出力する「ニューおしゃべりくんハイ!」(¥49,800)もある。



■トーキングパートナー (試作品)

①日本電気(株)C&C第一官庁システム事業部販売促進部

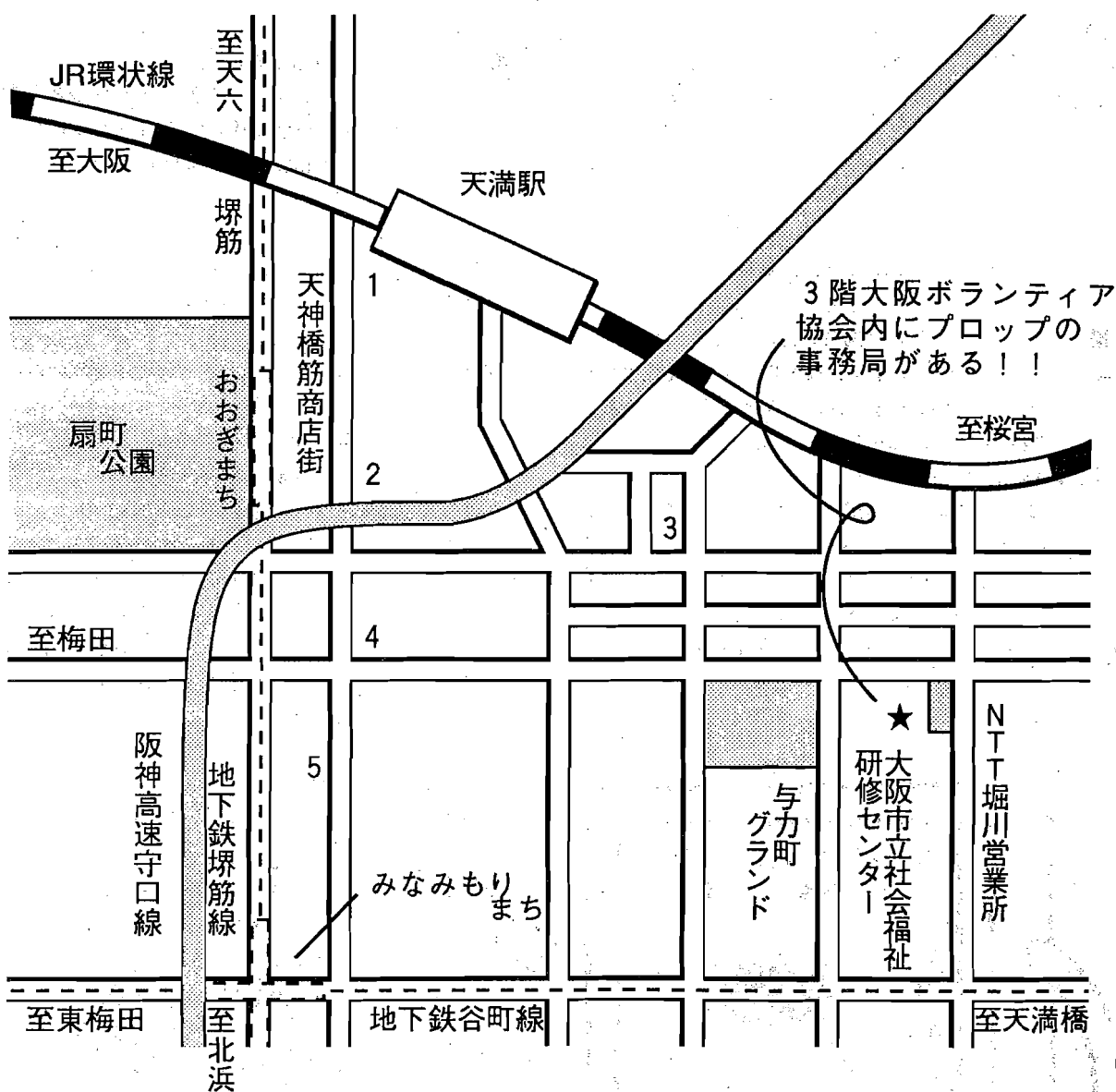
〒108-01 東京都港区芝5-7-1

TEL.03(3798)6212/
FAX.03(3798)9568

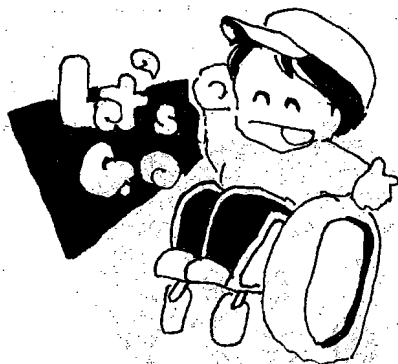
②試作段階のため未定

③スイッチ1つで文書や単語・文字を選択・発声させることが可能。コミュニケーション方法には2通りあり、「常用会話」は文書全体の選択を分野ごとに行う。「一般会話」は単語や文字ごとに選択し、文書作成後に発話させる。また、フットスイッチや呼気スイッチなど様々なキーと接続できる。

ボラ協周辺 食べ歩きMAP



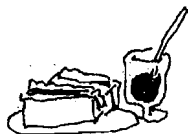
プロップ・ステーション事務局は、大阪の中心からはちょっとはずれたところにある。最寄りの駅は、JRなら大阪環状線天満駅、大阪市営地下鉄なら堺筋線南森町駅もしくは扇町駅の間にある。中心からはずれているがゆえに(?)、おいしいお店が結構あったりする。プロップ・ステーションの事務局に来られたときは、是非立ちよって見てほしいお店を何件か、ご紹介しましょう。



2 西洋茶館 <ティールーム・喫茶>

お店の中は、ブラウンのアンティークでシックに飾られている。コーヒー、紅茶ともいろいろな種類を取り揃えているが、どちらかと言えば、紅茶の方が専門的かな? おすすめは手作りスコーン(クッキーみたいなもの)セットとジンジャーブレッド(しょうがの効いたパウンドケーキ)セットで、いずれも¥800。美しいカップもその時々で柄、ブランドが変わるので、楽しい。

○大阪市北区天神橋4丁目6-14 電話 06-357-9780



4 どい亭 <カレー>

カウンターだけの店内は、ランチタイムのカレー目当のお客さんでいっぱいになる。手間暇かけて煮込み、コクのある柔らかな口当りに仕上げられている。並んでも食べる価値あり。どい亭自慢のビーフカレー¥600(サラダ付き)。一見、牛タンに見えるお肉、実は4時間煮込んだバラ肉で、とってもやわらかい!

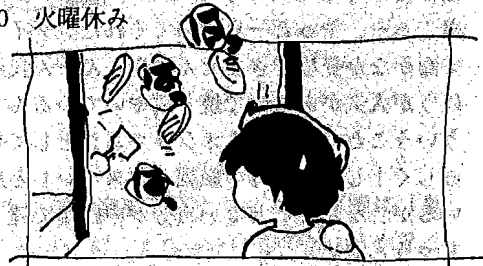
○電話 06-357-9748 営業時間 11:00-14:00 17:00-21:00 日曜休み



1 菊水 <お好み焼き>

「犬もあるけば、お好み焼き屋にあたる」というくらい、大阪はとにかくお好み焼き屋さんが多いけれど、「おいしい」ところは結構少ない。ここ菊水は「40分は並ばなくては食べれない」。菊水のおいしさの秘密は「がんこおやじ」にあるようです。目の前で焼いている間、ちょっとさわってみたくありません? この主人はそれを絶対ゆるしません! 全部で13ある小部屋をすべて一人でひっくり返しに回ります。ソースを塗ってできあがって初めて私たちも手を出せるというもんです。おすすめは五味焼き(おた、牛、えび、イカ、たこ) ¥1,350。店内の通路は非常に狭いので、車椅子のままでははいれないのが残念です。

○大阪市北区天神橋4-4-10 電話 06-351-6743 営業時間 15:00-18:30 火曜休み



3 珈琲館 <軽食・喫茶>

このホットサンドイッチは、ボリューム満点。店内も店員も明るく、店全体の雰囲気もよい感じになっている。大阪ボランティア協会からも徒歩約5分と最も近い飲食店の内の一つになっています。毎月10日は感謝の日ということで、コーヒー豆、器具の特別割引販売や来店するともらえる粗品がもらえるというサービスデー。私はまだ10日に行ったことがないけれど、今度は10日を狙って行こう!!

○大阪市北区同心2-7-3 電話 06-352-8626 営業時間 8:00-19:00



5 薫々堂 <和菓子>

香川県産の女峰といういちごを使った、小ぶりのいちご大福(¥150)が1-5月の季節商品として大人気。口の中で生地とあんこといちごがジュッと溶ける感じがたまらない! 1日200個は確実に出るという。大体5時までに行けば、売り切れ御免はまぬがれそう。9月から1月はかはちゃ饅頭¥120があり、こちらも連日売り切れの人気商品。創業は元治元年というから、もう125年ほど経つらしい。いちご大福の他にもバター、ミルク、卵の黄身をたっぷり使った「ゴールドクレー」も人気商品。

○電話 06-351-0375 営業時間 8:00-20:00 火曜休み

「我羅門の ネットワーク通信 よもやま話」

vol.1 No.1

今まで「我羅門のネットワーク通信 入門編」を連載し、前号で終了しました。1年間というお約束でしたので、「入門編」は、終わったのですが、その後編集長から「引き続き中級編をお願いします。」と依頼がやってきたのです。しかし、「中級編」となると、人それぞれレベルが違うし、それに何を対象に「ネットワーク通信」を見ているかによって、変わってきます。それを「中級編」という形でまとめるのはどうも難しいので、「よもやま話」ということで、また暫くお付き合いしてもらうことにしました。どんな話が登場するか、それは全く分かりませんが、よろしくお願いします。(天の声：ふー、やっと一息ついてくれた。タイミングが無くてなかなか登場できませんがな。んー我羅門め、私のほうが人気があるので焼き餅やいているんちゃうか。ということで、今回もオジャマムシとして登板です。よろしく！しかし、「中級編が出来ない」と屁理屈並べているが、なんてことない自分が中級まで達してないだけちゃうんか。)

さて、よもやま話第1回は、「動網」についてお話ししましょう。「動網」といっても、きっと国語辞典にも載っていないと思います。ネットワークの造語でしょうね。NET上でときどきみかけます。では、「動網」とはいったいなにか。単純に言うと、「動きながらもネットワークにアクセスすること」というか、「出先からもネットワークにアクセスすること」という意味で使われているようです。



ネットワークとして生活していると、段々「ネットワークが空気みたいな存在」に成ってきます。(天の声：うそつけ、アル中のアルコールみたいなもんだろうが。通信できないと禁断症状が出てきてイライラしてくるのじゃないの) ですから、毎日NETにアクセスして当たり前。1日1回以上、NETにアクセスして彼女からメールが来っていないか、進んでいる話題はどう発展しているか、見たくなるのです。(天の声：こう言った状況を禁断症状と言うのでしょうか。読者の皆さんも「健康のためにやりすぎ」に注意しましょう。しかし、彼女からのメール？うそつけ。) 毎日、家に帰って家の端末からアクセス出来るのでしたら問題ないのですが、仕事で出張したり、旅行に行ったりすると、途端にアクセスできなくなる。1日ぐらいなら我慢できるのですが、2日、3日となると、メールの返事が遅れて大切なデートの約束がパーに成りかねません。(天の声：完全な禁断症状だ。しかし、1日でも我慢できない人があると言うのだから驚きだ。誰って、そりゃ我羅門おまえのことやがな) 出先に、端末があってアクセスできる環境があれば、それを使わせてもらえばいいのでしょう。けど、まだまだネットワーク通信は電話機ほど普及しているわけではないのでそう簡単にはいきません。ですから、自分でネットワーク通信環境を持ち歩くしかないのです。これが「動網」です。

実際に「動網」している人は、どんな時通信しているのでしょうか？すでに書きましたが、長期出張の時など、宿に通信機材を持ち込んで通信している人もいますね。

(天の声：「している人もいますね」なに他人事のように言っているんじゃ、「していました」だろう。長期出張の時、ホテル選択の条件に「通信ができる環境」と言っているのは、どこの誰だったかな？)

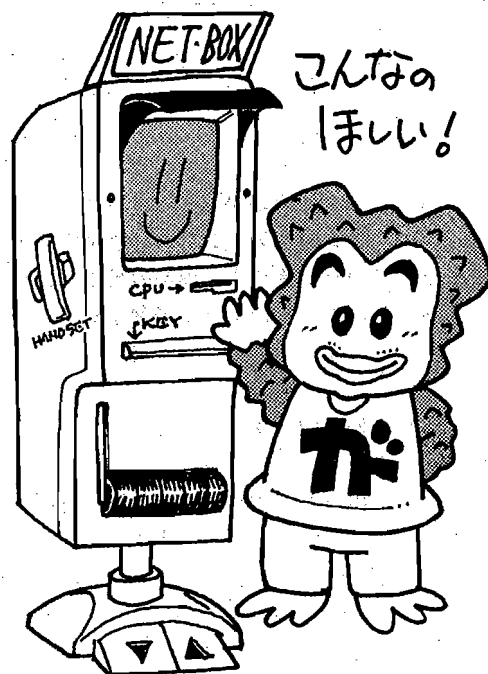
他には、もう去年の話になるのでしょうか新幹線の「のぞみ」1番列車の中から新幹線の電話を利用して、「のぞみ乗車感想」をリアルタイムに書き込んでいた人が何人もいたそうです。(天の声：そのような人が何組もいて、「のぞみ」の公衆電話回線が全部ふさがったらいい。みんな考えることは同じのようじゃのう。)

オフラインミーティングなどで集合場所が分からなくなったとき、公衆電話からNETにアクセスして場所の確認をしているという風景は珍しくないのかも知れませんね。(天の声：まだまだ珍しいわい！)

アマチュア無線をやっている方は御存じかもしれませんが、「フォックスハンティング」これをネットワーク通信利用して行ったことがあります。どうやるかという、狐を決め、狐は定時毎にNETに「どこそこにいる」とメッセージを残します。他の狩人たちは、そのメッセージをみて狐を追い詰めるのです。狐を見つけた狩人が勝ち、という遊びです。「動網」できない人は、同じNETで狐と狩人たちのメッセージを見て、「今度はここに現れるのではないか」とか、推理して狩人を助けたりして楽しむこともできます。

携帯電話を利用して、郊外から野鳥観測のデータを直接ネットワーク通信で送信しているグループがいると聞いたことがあります。携帯電話まで使うと究極の「動網」かも知れませんね。

将来、ネットワーク通信が人々の連絡手段として、より多くの人に、電話と同じぐらい使われるようになり、技術が進めば、無ネットワーク通信というのが当たり前になるかも知れません。家でネットワークにアクセスしているのと同じように街角でアクセスできる時代が、すぐそこに有るのかも知れません。



話を将来の話から現在にもどして、では実際に「動網」しようとすれば、どうすればいいのでしょうか？これは、次回のよもやま話への宿題としておきます。

「ちょっと一言」：外は雪景色、米原あたりでしょうか？そう、現在新幹線中です。2月末、東京出張の新幹線の中でこの原稿を書いているのです。日帰りの出張なので通信環境は整えていませんが、持ってきていたら、東京から通信で編集部へ原稿をメールする事だって出来ますね。雑音が多いのでうまくいくかどうか微妙ですが、新幹線の電話からでも出来なくはないでしょう。

(我羅門)



パソコン体験談 4

げんた

早いもので (そうでもないか ^^;)、「パソコン体験談」も4回目を迎えることとなりました。今回で一区切り、最終回とさせていただきます。前回の続きで、今度はハードディスクを取り付け、ソフトの利用についていろいろ・・・

《ハードディスクを使う》

まずは買ってきた内蔵ハードディスクを取り付けなければなりません。パソコンのスロットのカバーのネジを外し、ハードディスクを挿入し、再びカバーを付けます。これらの事は自分ではできないので、家族に私が説明しながらやってもらいました。うまくできるかどうか不安でしたが、何とかうまくいきました。その後、初期化とか、領域確保とか、ハードディスクの使える環境をキーボードを操作して作らなければなりません。これもパソコン本体と同じく、スイッチを入れてすぐ使えるものではなさそうです。やってみると実際の操作はそんなに難しくなかったのですが、説明書が同じ事をパソコンの機種別に説明してるので、説明書自体がやたら分厚い。自分がどこを読めばいいのかが分かりにくかったです。パソコンに互換性がないことの不便さがこんな所にも現れているなど感じました。

ハードディスク本体には、各ソフトのメニューの役割をするソフトの入ったフロッピーディスクが付属していました。今度はこれをインストール (組み込み) します。こちらもハードディスク本体のそれに匹敵する分厚い説明書を見ながらの作業でした。何とかこのソフトをインストールする所まではできました。しかし、この後、このソフトに実際に使うソフトを登録する段階で分からなくなってしまいました。通信用のフリーソフトウェア「WTERM」が登録できないのです。実用ソフトの登録は、市販されている主なものはコンピュータの指示通りに操作すれば登録できるようになっていましたが、それ以外のソフトの場合、難しい操作が必要のようです。しかし、これは初心者のMS-DOSの知識ではどう考えても無理です。しょうがないので結局ハードディスクに付属のソフトを使うのを諦めました。ハードディスクを初心者でも使い易くする為のソフトがこんなに使にくいことに疑問を感じてしまいました。

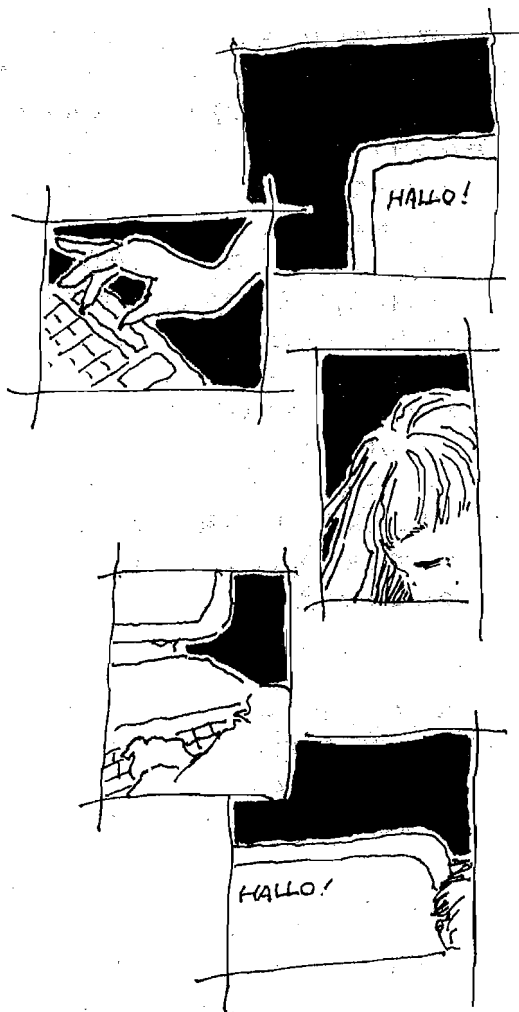
その後、いろいろ人に聞いたりして、今では実用ソフトを直接ハードディスクに組み込み、自分で簡単なメニューを作って使っています。その辺のことを、ワープロソフトを使うまでの話と共に、次で・・・。



《実用ソフトの組み込み》

今度は普段使うソフトをハードディスクに組み込みます。この時点で手元にあったソフトは通信ソフトの「WTERM」とワープロソフトの「一太郎Ver3」と「一太郎dash」。編集委員の亀ちゃんによれば「ハードディスクの中にサブディレクトリ (MS-DOSの仕組みの一つで、ファイルの入れ物) を作ってその中にソフトの全てのファイルをコピーすればよい」との事。これならさほど難しい事ではなさそうだと (この頃にはMS-DOSもだいぶ解ってきた)、手始めに一太郎Ver3を早速言われた通りにコピーし、「JXW」と入力して実行してみたが、「ATOK6を使用してください」というメッセージが出て元の状態に戻ってしまいました。一太郎Ver3やMS-DOSの解説書で調べてみると、ワープロソフトは「日本語FEP」と言うものをさきに起動させておかねばならないことが分かってきました。これは日本語入力や漢字変換を行うためのソフトだそうです。「ATOK6」と言うのは一太郎Ver3で使用する日本語FEPの事で、これを起動させるためにはCONFIG.SYSと言うファイルを書き換えなければなりません。このようなファイルのコピーとかCONFIG.SYSのファイルの書き換えという作業は、新たにソフトを組み込むたびに大なり小なり必要になってきます。この作業はなかなか面倒なものです。それにしてもパソコンというものは、起動させる時から周辺機器の取り付け、そしてソフトの起動まで、そのたびに説明書や解説書を読みながらの難解な作業が必要です。よくもまあこんな使いにくいものが売れるなあ (といいつつ、自分も買っている ^^;)。

最後になりましたが、私が使っているシフトキーロックソフトについて述べたいと思います。私は手が不自由なので、シフトキーやコントロールキーを押さえたまま他のキーを押す事が困難です。しかしこのシフトキーロックソフトを使うとシフトキーやコントロールキーを押した後一旦指を離して、その後に別のキーを押して、シフトキーやコントロールキーを押しながら別のキーを押したのと同じ機能を再現することができます。大規模パソコンネットのフリーソフトウェアで手に入ります。



《パソコン通信をしてみる》

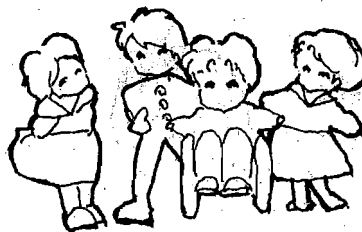
いろいろ苦労しながらようやくパソコンがまともに使えるようになってきました。「パソコン体験談1」でも書いたように、私がパソコンを買った理由の一つはパソコン通信をするためでした。ようやく目的の一つを実行することができます。ハードディスクに組み込んだ「WTERM」を起動！が、しかし、「モデムが接続されていません」というメッセージが出てきて後は何をすればいいのかさっぱり分かりませんでした。WTERM.DOCというファイルに使い方が書いてあるそうなので、MS-DOSのTYPEコマンドで（そのときはまだエディタを持っていなかった）見てみると、やたら長い説明がずらずらと出てきて終わってしまい、これではさっぱり読め

ません。「WTERM」を適当に操作していろんなウィンドウを開いてみると、モデム関係やダイヤリスト関係など、設定しなければならない項目の量の余りの多さにこれ以上はお手上げです。編集委員の亀ちゃんに聞くと、解説書が売られているそうなので、市販のソフトでないフリーソフトウェアの解説書まで売られているのかと感心しながら、本屋で解説書を買って求め、使い方を調べて設定を行い、これで大丈夫！ではなくて、大事なことを忘れていました。モデムを接続しなければなりません。説明書を見ながらの作業ですが、モデムそのものの接続はさほど難しくありませんでした。電話線を入れ換えて、スイッチを入れればOKでした。しかし、ソフトウェアでモデムを制御するためのATコマンドは難解でした。早くに買っていたパソコン通信の入門書に、どういう命令を送ればいいのかのアドバイスは載っているのですが、仕組みが複雑で、とても1回や2回読んだだけでは理解できません。とにかく、モデムを接続し、WTERMに、モデムへATコマンドを送る設定をしてアクセス（パソコン通信のネットに電話をかける）してみましたが、案の定失敗。文字が正確に送られてこず、画面に意味不明の文字が表示されるだけです。どうもうまくいきません。その後、ATコマンドを含め、いろいろと設定を変えて、なんとかアクセスできるようになったのは、1週間ほど後の事でした。言い忘れましたが、パソコンネットに正式にアクセスするためには、そのネットに登録の手続きをしてID番号を取らなければなりませんが、たいいていのネットにはゲストIDというものが用意されていて、これを利用するとID番号を取ってない人でもアクセスすることができます。私がここで書いた話のアクセス時も、ゲストIDを利用していました。ID番号を取って本格的にパソコン通信をしている今でも、まだATコマンドの設定には悩んでいます。

以上、4回にわたって、パソコンを買うことになってから数カ月間の出来事をズラズラと書いてきました。現在、私のノートパソコンは、おもに通信、ワープロに使っています。この「FLANKER」の編集にも、No.4まで大変役に立ちました。

味もそっけもない文章でしたが、ここまでお付き合いいただきましてありがとうございました（と言うか、付き合わざるをえない？）。パソコン初心者の方のごとでしたが、何かのお役に立てば光栄です。本当はこの他にも初めてで困ったこともあったのですが、またの機会に（もういい、の声が聞こえてきそう ^^;）。

げんた
（終わり）



《この本は絶対読んで！5》

●障害者の生活ガイドブック

わたしは、生活達人。

ハンディキャップ・ライフ研究会 発行

2,3年前頃より“〇〇の達人”と題した本、雑誌をよく書店で見かけるようになりました。今回、紹介する本は、この“達人モノ”の最新版とでも言うべき本でしょうか！？

「国連障害者の10年」以来、障害者の美談など折にふれてマスコミなどに取り上げられてきました。しかし、ハンディキャップ・ライフ研究会代表の松兼氏の言われるとおり、“オリンピックで根性や精神力だけでは金メダルが取れないように「心」だけでは《ハンディキャップ》も打ち破れません”。この考えに基づいて、全国規模で障害をもつ人たちに生活の「術」（すべ）を公募し、また独自で取材もされ、原稿の選考、編集、構成を終え、できあがったのがこの本、というわけです。障害をもつ人たちが、より快適に毎日を過ごせるようにあらゆる方面の達人たち、90人あまりが登場し、自分たちの知恵、工夫、提案などの「極意」を紹介しています。

大まかには、13のパートに分けられており、その道の達人たちが各々の工夫、意見を述べています。（タイトルの付け方もユニーク！！）

- ＝コミュニケーションの天才（伝える）
- ＝遊びたい（遊び）
- ＝健康派（健康）
- ＝仕事人集合（働く）
- ＝どこに住処（住む）
- ＝まなぶくん（学ぶ）
- ＝毎日がごちそうだ（食べる）
- ＝いとしの～（愛する）
- ＝生活は政治（政治）
- ＝おしゃれ万歳（装う）
- ＝芸術のすすめ（あらわす）
- ＝われら行動派（動く）
- ＝マイウェイ&マイライフ

私の個人的興味は、やはり“仕事人集合”のパートでした。ブロップではコンピューターを使って、障害をもつ人の《ハンディキャップ》を少しでも少なくし、就労に結びつけてほしいと活動していますが、コンピューター以外の分野でもみなさん、いろいろとがんばっておられます。絵画、語り、本の出版、ピア・カウンセリングなどなど。。。また、このような仕事をもっている人に仕事の内容を聞くだけでなく、どのようにすれば就職できるのか、といった提案もされており、心強い内容です。

2つのパートに1つの割合で取材がなされていましたが、仕事のパートではなんと！FLANKER 3号でご紹介しました株式会社「ユーダ」が、ここでも紹介されているではありませんか！！写真のアングルも似たような感じになってビックリしました（上田社長がお元気そうで、なによりでした）。

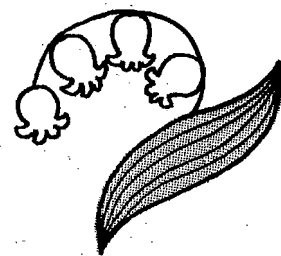
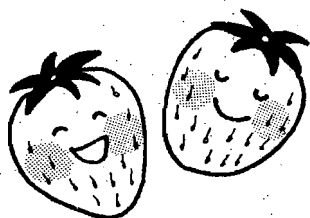
これまでこの手の本は、“カタイ”というイメージがありましたが、この本は、ユニークなイラストをふんだんに挿入し、やわらかく、読みやすく仕上げられています。（FLANKERに迫る勢い！？？）

一番私が気に入ったところは、この本に紹介されている達人さんたちにすぐ連絡が取れるよう、住所や電話番号が紹介されていたところです。人それぞれ感動するところ、度合などバラバラなので、どの人の連絡先も紹介されているというのは、障害をもっている読者にとって、特に心強いものとなるでしょう。（ファンレターがすぐ出せる！！）ここまで気配りのある、この本は絶対読んで！！

（A5版、216頁、定価1500円、

ハンディキャップ・ライフ研究会）

（文責：大和なでしこ）





・・・お問い合わせは事務局まで・・・

【会員募集】

ブロップ・ステーションでは、4月から、ブロップ・ステーションとして法人化を目指すため、本会の主旨にご賛同下さる個人および団体、企業のご入会を募っております。

障害を持つ人たちの社会参加と就労への道の開拓に、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

会費（年間一口）

個人会費	5,000円
団体及び法人会費	20,000円
機関誌年間購読料	2,500円
（年4回発行・1冊頒価700円）	

【セミナーからのお願い】

ブロップ・ステーションは、93年3月より(社)大阪ボランティア協会・千里国際情報事業財団（阪急グランドビル）・NEC関西支社にて、障害者を対象としたブロップ・コンピュータセミナーPHASE2を開始しました。当セミナーの実力をさらに上げるために、Macintosh、98マシン等のDTP、イラスト、CAD、3D・CGコース、プログラミング、リレーショナル・データベースなどの専門的なソフトに精通しているボランティアを継続的に募集しています。アフターファイブの気分転換に一度、ブロップへお越しください。

【企業のみなさまへ】

ブロップ・ステーションでは、たくさんの「人」の集まりである企業が、障害を持つ人たちの「存在の意義」と「潜在的なエネルギー」を感じて下さる事を心から願っています。「共に生きる」ためには「出会い」という第一歩が必要です。ブロップでは、障害を持つ人たちとどんなふうに日常のおつきあいをすれば良いのか——を知って戴くため、企業の皆様のブロップ活動への参画とご支援をお願いしております。「企業トップのあなた」、「企業で働くあなた」の力をぜひブロップへ！！ご連絡をお待ち申し上げます。

【ブロップ・ネットより】

ブロップ・ステーションでは、パソコン通信のホスト局「ブロップ・ステーション（ブロップ・ネット）」を開局しました。セミナー受講生とインストラクター間

の、また一般の方との交流を目的として、フリートーク、質問コーナー、福祉機器情報、障害者求人・求職情報、新聞情報などの情報ボードを用意しております。また、ソフトライブラリには、Macや98のツールやゲームを用意しています。皆様のアクセスをお待ちしております。

BBS名	ブロップ・ステーション
アクセス番号	06-882-5393
	2400bps MNP4
運営時間	24時間
ゲストID	GUEST

【原稿大募集】

FLANKERでは、読者の皆様からのご意見・ご感想・情報提供・写真・イラスト等、どんなことでも広く文章・資料をお待ちしております。

投稿記事・資料等をご提供の方は、事務局までお願いします。

【「FLANKER」点訳版とディスク版について】

兵庫点訳ボランティア連絡会のご協力により、「FLANKER」がIBMの「点訳ひろば」に掲載される事になりました。これにより視力障害を持つ方ならどなたでも、全国各地のプリンティングセンターで「FLANKER」の点字版またはディスク版が（実費にて）入手できます。すでに第4号から実施いたしておりますので、ぜひこのシステムをご活用下さい。今後、墨字版発行後、約1ヶ月で「点訳ひろば」に掲載されます。プリンティングセンターの所在地等のお問い合わせは、ブロップ事務局までどうぞ。

紙面を借りて、兵庫点訳ボランティア連絡会の皆様のご協力とご支援に、心より御礼申し上げます。



＜ブロップ・ステーション事務局＞

〒530 大阪市北区同心1丁目5-27

大阪ボランティア協会内

TEL・FAX 06-881-0041

郵便振替口座：大阪 1-324322

ブロップ・ステーション

銀行振込口座：さくら銀行北浜支店 3302978

ブロップ・ステーション